

守部村検地帳概要

1: 文書群番号	065007
2: 文書群名	守部村検地帳
3: 出所	守部村
4: 家業・役職等	-
5: 地名	摂津国武庫郡守部村／兵庫県武庫郡守部村／武庫郡武庫村守部／尼崎市守部／尼崎市南武庫之荘8丁目
6: 行政区分	幕府領／旗本佐藤氏(信則系)知行所／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市
7: 歴史	守部は市域西部で武庫川の東岸に位置する武庫地区の大字である。平安末期から中世にかけては守部荘の荘域であった。村高は「慶長十年摂津国絵図」「元禄郷帳」に386.1石、「天保郷帳」に510.5224石とある。
8: 伝来	昭和40(1965)12月に古書籍商より購入し、平成16年(2004)7月に整理・目録作成を完了した。
9: 史料入手先	古書籍商
10: 点数	2点(目録件数2件)
11: 年代	延宝5年(1677)
12: 構造と内容	本文書群は「文禄三年検地帳写し」と「延宝五年新田検地帳写し」からなる。前者は文禄3年(1594)の太閤検地の際の検地帳(古帳)にもとづき、土地所有状況を貼札にて加筆・修正し、領主へ提出したものの写し。後者は新田改めの検地帳写しである。前者の石高合計は386.1石、後者には合計124.4224石と記載されており、両者を足すと「天保郷帳」の記載と同じ村高510.5224石となる。
13: 関連史料	守部村の近世史料には福田佐一郎氏文書がある。
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	近藤浩二